

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 26日

事業所名 のぞみ園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	13	16	5	収納スペース工事を次年度計画	
	2 職員の配置数は適切であるか	9	12	13	受入や送迎対応を業務連携しながら行っている 運転手の配置により送迎対応の負担軽減	専門職と非専門職の業務振り分けを行い、非専門職職員の配置により、直接支援や振り返り等が十分に行える環境作りを計画
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	15	1		
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせるよう環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	11	2		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定とふりかえり)に、広く職員が参画しているか	10	21	3		設問2の改善内容と同じ
	6 保護者向け評価表の活用やアンケート調査等を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	15	0	毎年12月にアンケートを実施し、その内容をもとに次年度の事業計画を立案	
	7 サービスの自己評価の結果や改善の内容を、事業所の会報等で公開しているか	23	9	2	利用家族へ結果の配布と事業所玄関に掲示 昨年より、ホームページに結果を掲載	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17	16	1	年2回第三者委員へ評価結果と苦情受付対応の報告を実施し、ご意見を頂いている	
	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	23	10	1	年間の研修計画の立案と実施を行っている(施設内・外の研修) 自立支援協議会・療育ネットワークなどと連携した研修の開催を行っている 資格取得のための研修派遣	他事業所見学研修を次年度は計画
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	22	9	3		より客観的視点で分析できるアセスメントツールの見直しを図っていく予定
	11 子ども状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	14	1		
	12 個別支援計画には、子どもの支援に必要な具体的な支援内容が設定されているか	24	10	0		
	13 個別支援計画に沿った支援が行われているか	15	17	2		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	18	14	2	クラス毎に日々の振り返りを実施し、その中で活動プログラムについて反省や計画立案を行っている	
	15 子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	20	12	2		
	16 子どもの状況に応じて、個別・集団による支援を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	20	13	1		
	17 定期的にモニタリングと個別支援計画の見直し、変更が行えているか(少なくとも6か月に1回は見直しが必要)	20	14	0		
	18 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	14	17	3		
	19 支援終了後や行事等終了後は、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	22	10	2	毎日クラス毎にその日の支援について振り返りを行っている	
20 日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	23	11	0			

関係機関や保護者との連携	21	相談支援専門員が呼びかけるサービス担当者会議に支援にかかわる職員が参加することができるか	20	14	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	23	11	0	葦美市親子教室に参画し、保健師と連携して相談・支援へのつながりを行っている 見学希望者や新規通園希望者については、保健師と情報共有をはかりながら支援を行っている	2020年度は、住用町の親子教室にも参画予定
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	16	18	0	通園開始前に電話連絡や質問書のやりとりで情報確認を行ったり、必要時は受診同行をすることで連携を図っている	
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	18	15	1	同上	
	25	移行支援として、保育所やこども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	15	1	保育所・幼稚園の見学同行や情報交換会開催等を通して支援を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	23	11	0	幼保小連絡会や担当者会、保育所等訪問支援等を通して、連携を図っている	
	27	他の児童発達支援事業所や自立支援協議会・県の療育センター等と連携し、助言や研修を受ける機会があるか	19	15	0	県通所事業所連絡会と連携して支援者研修会を開催し、事例発表と検討会を行っている 児童発達支援センター連絡会に参加し、助言を受けたり情報共有をはかっている	
	28	地域の自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	15	17	2	自立支援協議会子ども部会に複数職員を派遣し、その中で見同発達管理責任者会議等にも参加している	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	17	0	年2回の面談だけでなく、玄関での受け入れの際の声掛け、相談支援のモニタリング面談等においても必要時はお話させていただいている	
	30	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか(ペアレントプログラム等の情報提供・実施も含む)	21	13	0	保護者向けペアレントプログラムを実施している	次年度も保護者向けペアレントプログラムを開催予定
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19	13	2	契約時に説明を実施。利用料の変更等あれば、その都度説明と同意書を頂いている	
	32	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	24	9	1		
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	15	1		
	34	保護者会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	23	10	1	今年度より放課後等デイサービス事業の保護者会も立ち上がり、保護者同士のつながりを意識してその活動を支援している	
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	13	1	指針・マニュアルを整備し、受付の際は担当者がすぐに対応できる体制となっている 契約の際に、苦情受付の対応についても説明を行って周知に努めている	
	36	定期的にお便りや事業所内掲示等で、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に発信しているか	21	13	0		
	37	個人情報に十分注意しているか	25	8	1	入職時研修と年1回全職員を対象に個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を行っている	
	38	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20	14	0		
	39	地域住民や地域の関係機関等にも協力をもらいながら行事を行うなど、地域に開かれた事業運営を図っているか	19	15	0	夏祭りでは地域の八月踊り連合に参加してもらったり、子育てサークル等へ施設開放を行ったりしている	
食事の支援	40	給食は栄養バランス屋健康面も考慮された献立となっているか	31	3	0		
	41	給食の味付け、量、温度は適切か	28	6	0		
	42	子どもたちが楽しみに感じる食事環境・食事メニューの提供が行えているか	26	8	0		
	43	個別の状況に合わせた食事の支援がなされているか	28	6	0	アレルギー・食事形態等については、アセスメントをもとに対応している	

非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	20	13	1	感染症の研修を年2回(インフル・ノロ・食中毒)必ず実施している 警察の協力のもと防犯訓練を年1回実施している	
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	6	0	毎月訓練実施 要保護者の避難計画についても立案済み	地域との災害協力体制について、次年度具体的に協議していく予定
	46	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	10	0	入職時研修と年1回全職員を対象に研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	19	15	0	事例なし 身体拘束のマニュアルを整備し、職員研修も年1回実施	
	48	食物アレルギーのある子どもや専門医の指導が必要な子どもについて、医師の指示書や指導に基づく対応がされているか	22	12	0		
	49	ヒヤリハット・事故報告書が作成されており、事業所内で内容について周知共有がおこなえているか	29	5	0	報告があった次の日の朝礼にて周知共有を行っている	